

平成 28 年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）

「外因死の背景要因とその遺族への心のケアに関する研究」

分担研究報告書

自殺・不慮の事故等の要因分析と遺族支援における監察医務院の役割の提言

研究分担者 福永 龍繁（東京都監察医務院）

研究協力者 鈴木 秀人（東京都監察医務院）

引地和歌子（東京都監察医務院）

木村 聡子（東京都監察医務院）

谷藤 隆信（東京都監察医務院）

阿部 伸幸（東京都監察医務院）

柴田 幹良（東京都監察医務院）

研究要旨： 東京都監察医務院において取り扱う全ての異状死について、検案記録を活用し、外因死の背景要因の解析を行い、問題となる課題を抽出した。平成 28 年度においては、精神保健に関する要因に焦点を当て、平成 29 年度以降の課題整理を行った。その結果、外因死に関連した諸問題と遺族支援について、特に、薬毒物による自殺、妊産褥婦死亡、若年層の自殺などが早急に調査すべき課題として上げられた。その中で、薬毒物による死亡は、自殺のみならず、不慮の事故、その他及び不詳の死に分類されるものもあり、致死的中毒例を外因死全体から抽出すべきであることが明らかとなった。同様に、妊産婦死亡や若年層の自殺についても、精神保健的遺族支援の必要性があると考えられた。

A. 研究目的

東京都 23 区における全ての異状死と取り扱う監察医務院の検案結果に基づき外因死の検案結果に基づき、その背景を解析することにより、精神保健的・社会的要因を明らかにし、もって防ぐことのできる死亡を防ぐ対策につなげ、遺族等の支援に貢献することを目的とする。

B. 研究方法

東京都監察医務院の検案調書のなかで特に外因死について調査を行った。外因死には、不慮の中毒、窒息、溺水、交通事故等の外因死、自殺、他殺、そのいずれにも分類できないその他及び不詳の死が含まれる。今年度は、その中から外因に関連し、かつ早急に精神保健的遺族支援に必要な課題の抽出を行った。

（倫理面への配慮）

本研究は、個人の特定のできないように配

慮して遂行することにより、東京都監察医務院倫理委員会の承認を得た。

C. D. 研究結果

外因死に関連した諸問題と遺族支援について、特に、薬毒物による自殺、妊産褥婦死亡、若年層の自殺などが早急に調査すべき課題として上げられた。その中で、薬毒物による死亡は、自殺のみならず、不慮の事故、その他及び不詳の死に分類されるものもあり、致死的中毒例を外因死全体から抽出すべきであることが明らかとなった。同様に、妊産婦死亡や若年層の自殺についても、精神保健的遺族支援の必要性があると考えられた。

E. 結論

異状死として取り扱われ、監察医務院の検案対象となる事例には、その実態から背景を詳細に調査することにより、防ぐことのできる死亡が多く含まれる。平成 29 年度以降の

研究において、得られた成果を広く社会に還元し、予防医学、公衆衛生の向上に貢献することが重要である。

F. 健康危険情報

特になし。

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

- (1) 引地和歌子. 東京都 23 区における乳幼児窒息死事故の実態. 第 22 回日本 SIDS・乳幼児突然死予防学会学術集会 2016.3.4-5, 横浜.
- (2) 福永龍繁. 在宅死と死体検案～特に孤独死と入浴中浴槽内死亡について. 平成 27 年度都道府県医師会「警察活動に協力する医師の部会 (仮称)」学術大会 2016.3.-6, 東京. 要旨: 抄録集 p.3-4.
- (3) 引地和歌子, 谷藤隆信, 阿部伸幸, 鈴木秀人, 福永龍繁. 東京都 23 区内における自殺手段にガスを用いた事例の経時的傾向 (展示 P5). 第 100 次日本法医学会学術全国集会, 2015.6.17, 東京都品川区. 要旨: 日法医誌 2016 May; 70(1): 86.
- (4) 福永龍繁. 監察医からみた在宅死. (シンポジウム 周辺領域からみた在宅死) 第 18 回日本在宅医学会大会. 2016.7.16, 東京都江東区. プログラム・

口演抄録集 p.113-4. 要旨: 日本在宅医学会雑誌 2016 Oct; 18(1): 85.

- (5) 福永龍繁. 監察医務院からみた致死的薬物の実態. (シンポジウム 14 処方薬依存の実態と作用機序) 第 51 回アルコール・アディクション医学会学術総会. 2016.10.-8, 江戸川区. 要旨: 日本アルコール・薬物医学会雑誌 2016 Aug; 51(4): 118.
- (6) 鈴木秀人. 監察医から見た子どもの自殺. 第 57 回日本児童生年精神医学会 2016.10.29, 岡山県岡山市.
- (7) 福永龍繁. 東京都監察医務院取扱い事例にみられた致死的過量服薬. 第 29 回日本総合病院精神医学会学術総会 シンポジウム「急性バルビツール酸系睡眠薬はいまだに必要か?」2016.11.25, 千代田区. 要旨: 総合病院精神医学 2016 Nov; 28(Suppl): S-76.

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む。)

1. 特許取得

なし。

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし